

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和5(2023)年3月1日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「昨日夕方のNHKの番組において、盛岡東警察署で勤務する若手警察官が取り上げられていた。その方は、釜石市出身で、同市で東日本大震災を経験し、そのときの警察官の活動を見て警察官を志したとのことであり、今後、地域の方々の命を守っていきたいということ話を話していた。2、3年前に、警察学校の学生の皆さんに、どうして警察官を志望したのかというアンケートを取ったときに、「東日本大震災のときに、警察官が地域の方々のために一生懸命働いている姿に感動し、自分もそのようになりたいと思い警察官を志望した。」という理由の方が半数近くいた。今の学生もそういう方が多いと思う。東日本大震災当時、情報が入ってこないという孤立した地域にいたが、警察車両が通るだけで勇気づけられた。子供たちも、同じような経験があり刺激を受けたのではないかと思う。東日本大震災から12年が経過したので、「震災を経験して、そのときの警察官の活動に刺激を受けて警察官を志望する」という若者は、あと2、3年、長くて4年でいなくなると思う。それ以降の世代の若者は、別の理由で警察官を志望してくると思う。そのことを意識し、多くの若者に警察官を志望してもらえるように、災害発生時のほか、日常の見せる活動においても、住民の方々のために一生懸命頑張っている姿を見せていただきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 「令和5年全国優秀警察職員表彰（長官功労章）」受賞者の決定等について

警察本部から、「令和5年全国優秀警察職員表彰の受賞者は、久慈警察署の警部である。警部は、長年、刑事部門において勤務しており、強行犯事件や余罪多数の窃盗事件など、幾多の事件捜査に従事して多大な成果を挙げている。また、明朗かつ誠実で責任感も強いことから、上司同僚からの信頼が厚く、積極的に部下の指導を行うなど、明るく活力ある職場づくりに寄与している。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年、一昨年と中止されていた警察庁主催の表彰式が3年ぶりに開催されるほか、配偶者除きであるが皇居特別参観・拝謁が行われる予定である。広報については、表彰日である3月13日を報道解禁日として報道機関に対して行う予定である。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 東日本大震災津波命日における取組について

警察本部から、「東日本大震災津波に伴う行方不明者の捜索については、平成23年度から平成29年度までは、本部主導で毎月の月命日を中心とした捜索や、3月と9月の節目に集中捜索を実施していたが、平成30年度からは捜索方針を見直し、沿岸各警察署の管内の実情や行方不明家族等からの要望等を踏まえた随時捜索を実施している。本年3月11日で震災発生から12年を迎えるにあたり、命日を中心として沿岸5署で行方不明者捜索を実施する予定である。発災以降継続して捜索を実施しているが、平成24年12月11日、陸前高田市米崎町地内で御遺体を発見して以降、新たな御遺体の発見には至っていない。

次に、東日本大震災津波警察活動写真展の開催についてであるが、写真展は、震災発生当時の警察活動を広く県民の皆様にお知らせするとともに、震災の記憶の風化防止と津波防災意識の高揚を図ることを目的として開催しており、今回は、本日3月1日から3月13日の間に、警察本部1階玄関ホールにおいて開催する。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「東日本大震災直後に沿岸地域に行っているが、警察の被害も大きく、その惨状をよく記憶している。警察では、人命救助を行いながらも、企業等から流出した財産的価値のある様々なものを所有者に返還する手続にも尽力され、関係者の方々は、その誠実さにすごく感謝したと思う。当時の苦労は大変だったと思うが、改めて感謝する。」

■個別会議

○ 交通企画課

地域交通安全活動推進委員の解囑の説明、決裁

○ 会計課

岩手県警察国有物品管理規則の一部改正の説明、決裁

○ 運転免許課

審査請求に対する弁明（案）の説明、決裁

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁